

【第1学年 コミュニケーション英語Ⅰ（3単位）】

	Reading	Listening	Writing	Speaking
1 学 期	80語程度で書かれた自己紹介などの文章を、辞書を使いながら読めば、大まかに理解することができる。	教室内で交わす挨拶や授業における教師からの指示を、大きな声ではっきりと言われれば、概ね聞き取ることができる。	個人の興味や趣味などに関する内容であれば、自己紹介の文章を、3文程度の簡単な英語で書くことができる。	写真や絵などの視覚教具があれば自分の学校や地域などについて、易しい語彙や構文を用いて簡潔に紹介することができる。
2 学 期	100語程度で書かれた日本文化の紹介などの文章を、辞書を使いながら読めば、ほぼ正確に理解することができる。	行っているスポーツや弾いている楽器などに関する文章を、ゆっくりと2回読まれれば、概ね聞き取ることができる。	日常的に行っていることであれば学校行事や部活動に関する文章を5文程度の英語で書くことができる。	メモを見ながらであれば、地域の祭りなどの伝統文化について、それらを見たことがない人たちにもわかるように説明できる。
3 学 期	120語程度で書かれた異文化理解などに関する説明文を、脚注や巻末資料を参照すれば、かなり深く理解することができる。	歴史上の人物などの伝記を、標準的なスピードで2回読まれれば、要点を理解することができる。	友人や家族宛てのものであれば、伝言メモや依頼文などを、携帯電話のテキストメッセージの形式で書くことができる。	原稿を見なくても、Cool Japanを表す日本文化の例などについて、外国人にもわかりやすく述べることができる。

【第2学年 コミュニケーション英語Ⅰ（2単位）】

	Reading	Listening	Writing	Speaking
1 学 期	オリンピックの歴史などに関する文章を、辞書を使わなくても60wpm程度で読み、大まかに理解することができる。	外国における挨拶時のジェスチャーなどに関する文章を、やや遅いスピードで読まれれば、大まかに理解することができる。	身近な出来事であれば、自分がその日に行なったことや感じたことについて、8文程度の英語で日記風に書くことができる。	ファーストフード店などにおいてメニュー表を見ながらであれば、店員にわかるように食べ物や飲み物を注文することができる。
2 学 期	生態系などの地球環境に関する文章を、辞書を使わなくても80wpm程度で読み、要点を理解することができる。	外国における年齢や男女による言葉遣いの違いなどに関する文章を標準的なスピードで読まれれば、大まかに理解することができる。	比較的良好に話す友人のことであれば、その人の長所・趣味・部活動などについて10文程度の英語でわかりやすく書くことができる。	洋服店などでの買い物において、メモを見ながらであれば、店員にわかるように自分の好みを正確に伝えることができる。
3 学 期	350語以上で書かれた小説を、辞書を使わなくても100wpm程度で読み、話の展開を概ね理解することができる。	世界や日本における有名な観光地などに関する説明文を、標準的なスピードで読まれれば、細部まで理解することができる。	他の生徒が将来の夢や希望について標準的なスピードでスピーチをすれば、それを聞きながら要点を英語でメモすることができる。	原稿を見なくても、自分の将来の夢や目標について、聴衆が理解できるようにスピーチをすることができる。

【第3学年 英語表現Ⅰ（2単位）】

	Reading	Listening	Writing	Speaking
1 学 期	自動車などの機械類の構造と仕組みについて書かれた文章を、専門用語を事前に学習すれば、大まかに理解することができる。	世界文化遺産の例などに関する説明について、標準的なスピードで読まれれば、要点を理解することができる。	身近な人々や自分の体験や想像に基づいて、私小説的な物語文を、80語程度の英語で書くことができる。	地図などの視覚教具があれば、目的地までの行き方について、相手が確実に到着できるように道案内をすることができる。
2 学 期	家庭電化製品の操作方法を説明する文章を、専門用語を事前に学習すれば、ほぼ正確に理解することができる。	天候・気温・風の強さなどを含む天気予報について、標準的なスピードで読まれれば、正確に理解することができる。	封筒や手紙の書式を事前に学習すれば、海外のホストファミリーに対する礼状などを、100語程度の英語で書くことができる。	メモの助けがあれば、個人的な予定の確認や頼み事について、相手の顔が見えない電話でもやり取りをすることができる。
3 学 期	スマートフォンなどの電子機器の操作方法を説明する文章を、辞書を使わなくても、ほぼ正確に理解することができる。	空港や航空機の機内で放送される内容について、やや速いスピードでアナウンスされても、正確に聞き取ることができる。	日本語の新聞記事で事前に情報を得ることによって、自然災害などの時事問題について、120語程度の英語で書くことができる。	論点の挙げ方を事前に学習すれば制服の是非などについて、聞き手が共感するように論理的にディベートを行なうことができる。